

○「機構関連農地整備事業をテーマに」

(京都府綴喜郡井手町第2回地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年10月10日(水)午前10時30～
- 場 所: 井手町立自然休養村管理センター
- 出席者: 委員8人
事務局 菱本事務局長、坂井事務局担当
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役

なし

2 地区の特徴、状況、課題

- 本町の西側を木津川が南北に流れ、東側には山地が広がり、中央部にJRが南北に走っている。
- 農地は木津川とJRに挟まれた平坦部に広がり、米を中心に、筍、茶が栽培されている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 第1回地区連絡会議で委員の関心が高い機構関連農地整備事業について、現地推進役が説明し、意見交換を行った。
- 委員からは、開発や宇治木津線のルートなどが決まらないと事業計画が立てられない。
- 担い手に集積というが、町内には5名しか担い手はいない。
- ほ場整備を機に、農地を売りたいという農家もある。
- ほ場整備をしないと他地域の担い手も耕作しに来ない。
- 以前にほ場整備を行った農地を対象に含めることができるのか。
- 等の意見があり、ほ場整備に関心はあるが要件がクリアできないもどかしさを感じられた。

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援